## 施餓鬼御和讃













## ポイント注意

変化部「焰口の餓鬼が」を盛り上げます。「三日の命と」の唱えに心をこめましょう。

最後段「五如来無量寿」以下、高らかにしっとりとしたお念仏で納めましょう。

(歌詞は78ページ)

## どん りゅうしょう にん 呑 龍 上 人 和 讃

齊藤 耕善 作詞

- 2 干魃飢饉に 泣く邨の 諸人たちを 励ましつ 高声念仏 百万遍 天まで届けと 唱うれば 龍神めぐみの 雨降らす
- 3 貧しき者も 病む人も 心康らぎ 徳したう されど上人 巡錫の 杖をたよりに 旅ごろも 急仏行脚 今いづこ

(音譜は76ページ)

- 4 やがて帰れば デャゲ 家康公の 請いを承け 上野新曲に 由緒ある 大光院を 建てたれば 檀林となり 僧集う
- 大光院の 門前に
  時折り哀れ 捨て児あり
  上人憐れみ 抱きあげて
  慈父のごとくに はぐくめば
  子育て呑龍と 崇めらる
- 6 慈恩を受けし 子らはみな 上人仰ぎて 共どもに 等修念仏 一行に 励みはげみて 名をなせり 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

## 施餓鬼和讃

- 1 常随多聞の 南難韓者 樹下質想の 夜重け時 樹口の餓鬼が 競われて 三首の命と 告げ消えぬ

水口 正宏 作詞

五如来無量寿 计露主 南無阿弥陀仏 阿弥陀仏

(音譜は70ページ)